

執筆要項

1. 投稿原稿の分量の目安は、和文で次の通りとする。英文の場合、文字数を倍に換算する。
 - (1) 論文は、本文と文献合わせて 40 字×500 行以上 1000 行以内とする。
 - (2) 研究ノートは、本文と文献合わせて 40 字×200 行以上 500 行以内とする。
 - (3) 書評は、40 字×50 行以上 200 行以内とする。
2. 原稿は、マイクロソフトワード形式、A4 判にて、1 ページ 40 字×40 行、横書きとする。日本語では「、」「。」をもちいる。
 - (1) 論文は、①和文表題、②著者名、③その所属、④400 字以上 800 字以内の和文要約、⑤3~5 語の和文キーワード、⑥本文（見出し、注、図表等も含む）、⑦文献、⑧英文表題、⑨200~400 語の英文要約、⑩3~5 語の英文キーワード、を順に記載する。各項目の間は 2 行空ける。
 - (2) 研究ノートは、①和文表題、②著者名、③その所属、④3~5 語の和文キーワード、⑤本文（見出し、注、図表等も含む）、⑥文献、⑦英文表題、⑧3~5 語の英文キーワード、を順に記載する。各項目の間は 2 行空ける。
 - (3) 書評は、①編・著者名、②書名（副題、版数を含む）、③出版地、④出版社、⑤刊行年、⑥総頁数、⑦定価、を明示し、⑧本文（講評）の後、⑨必要に応じて文献を記載する。各項目の間は 2 行空ける。
3. 注は脚注とする。
4. 文献引用は、著者名（発行年：ページ数）、または、（著者名 発行年：ページ数）、とし、本文中に挙示する。
5. 現地語は斜字体とする。
6. 図表は、執筆者が作成したものを原則そのまま使用する。図表にはタイトルを付す。なお、著作権者の了解を得ることなく、他者の図版を転用してはならない。
7. 文献は、著者名、発行年、題名、出版社（英文文献の場合は、その前に出版社所在地都市名を記載する）の順に記載し、著者姓名のアルファベット順または五十音順に配列する。以下に例を記す。

Clifford, James
1986(1996) “Introduction: Partial Truths,” In Clifford & Marcus (ed.), *Writing Culture: the Poetics and Politics of Ethnography*, pp.1-26, Berkeley: University of California Press.
（「序論——部分的真実」、クリフォード&マーカス（編）『文化を書く』、pp. 1-50、春日直樹他訳、紀伊国屋書店。）

Linnekin, Jocelyn
1992 “On the Theory and Politics of Cultural Construction in the Pacific,” *Oceania* 62-4: 249-263.

三浦 耕吉郎（編）
2006 『構造的差別のソシオグラフィ——社会を書く／差別を解く』、世界思想社。

清水 昭俊
1992 「永遠の未開民族と周辺民族——近代西欧人類学点描」『国立民族学博物館研究報告』17 卷 3 号: 417-488。
8. その他執筆要項の細部は、編集委員会において決定する。

(2010 年 7 月 15 日)